

2009/3/27

C1000シリーズ

RLY1000

取り扱い説明書

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 日野市旭が丘3-2-11

TEL 042-586-2933

FAX 042-584-0314

1. 概要と特長

RLY1000 は C1000 シリーズの C-Bus モジュールです。

4 入力 1 出力の多目的リレーセクタです。

切り換え時の無接続期間の仕様に対応しています。

2. 構成

RLY1000 本体とコネクタモジュール RPC1004 により構成されます。

- RLY1000 本体

基板および補強を兼ねたシールド板と一体化したフロントパネルで構成されています。

- RPC1004 コネクタモジュール

入力用 D-Sub9 コネクタ 4 個、

出力用 D-Sub9 コネクタ 1 個 が設置されています。

C1000 シリーズのリアパネルに固定します。

3. 機能

1) RS232C 及び RS422A セクタとして使用。

CH 1 ~ CH 4 を相互リセット

2) 共通コモンセクタ

CH 1 ~ CH 4 を独立動作

4. 設置方法

1) C1000 シリーズのシャーシにおいて予め使用するスロットに RPC1004 を固定します。

2) RLY1000 をスロットに挿入し奥まで差し込みます。

3) C1001 の使用時は抜け止め防止金具を起こします。

C1002 を使用時はフロントパネルで各モジュールは固定されます。

5. 主な仕様

1) 入出力信号

入出力数 4 入力 1 出力 1 系統

 1 系統 4 接点切り換え

切換時、無接続期間 (約 0.3~0.5sec) 動作に対応しています。

(OFF 動作をしない設定も可能です。)

接点切り換えの為、信号問わず無極性

2) 接点定格

最大許容電圧 50V

最大許容電流 500mA

共通コモン 基板内部にて接続

3) 消費電力 約 1.3W

6. ピンアサイン

D-Sub 9 (メス)

ピン	RS 232C	RS 422
1	FRAME GND	FRAME GND
2	CONT.1 (Rx と同極性)	Rx- (Tx-)
3	Tx	Tx+ (Rx+)
4	CONT.1, CONT.2 COM	Tx COM (Rx COM)
5	N.C	N.C
6	Tx, Rx COM	Rx COM (Tx COM)
7	CONT.2 (Tx と同極性)	Rx+ (Tx+)
8	Rx	Tx- (Rx-)
9	FRAME GND	FRAME GND

※ Tx や Rx 等の名称は、定義上のものです。実際には、無極性です。

7. 各種設定

1) ジャンパーピン

JP1 > 1-2, JP2 > 1-2, JP3 > 1-2, JP4 > 1-2

JP5 > 1-2, JP6 > 2-3

2) ディップスイッチ

S2 > 1-ON, 2-OFF, 3-ON, 4-(CIF 使用時>OFF, CIF 未使用時>ON)

S3 > 1-(無接続期間アリ>ON, 無接続期間ナシ>OFF), 3~8>未定義

S3 > 2-(マトリックス用設定 コマンド 5 で All"OFF")